

## 平成 26 年度 各係における教育活動重点目標 中間報告

本校の主要な係で、本年度取り組みたいものとして挙げられた重点目標です。それぞれの項目について、中間、最終の自己評価を行います。その評価を、学校評価評議員の皆様へ配布しますので、学校評価シートの評価にお役立てください。

### (1) 教務係

重点目標	今年度の目標
①	生徒の学力向上を目指す
②	校務が円滑に行える計画・立案する。
③	生徒の出席状況の把握と学習にのぞむための先行指導
④	生徒の豊かな人格形成を助ける。
⑤	広報活動の充実化、特にHP、発行物の充実をはかる。

※評価【 〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分 】

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題
①	授業アンケートを実施し、その結果を利用した授業改善への反映	授業評価を実施し、授業改善に努めたか。	A	各教科ともに1学期のアンケートをもとに2学期に望んでいる。
①②	教科シラバスによる計画的授業と定期考査の工夫	計画的な授業が展開でき、学習内容の定着が確認できたか。	A	内容の見直しはほぼ済んでいるが、生徒への反映の点で課題が残る。
①	年3回（3年は2回）の実力テストの結果を利用した学習活動への反映	結果を基に生徒に適切な指導ができたか。適切な準備後処理が出来たか。	A	予備学習帳の配布から後処理までとどこおりなくできている。
①②	授業時数の確保	年間計画にのっとり授業時間が確保できたか。	A	急な変更もなく計画通りに進んでいる。
①②	試験時間割・監督の日程	計画的な試験対策勉強が出来る環境を作れたか。	A	計画通りに進行中
①②③	適切な年間計画の作成	年間の様々な行事を適切に配置し、生徒の豊かな人格形成の手助けとなったか。	A	計画通りに進行中
①②	学校自己評価	学校自己評価をとりまとめ、外部に公表できたか。		年度末に評価

②④	LHRの計画・設定	学年・クラス運営に効果的な計画・内容であったか。		年度末に評価
②	校内教研・テーマ学習会の立案・実施	研修結果が生徒指導に反映できるよう研修内容・講師選定・時間確保が出来たか。	A	校内教研を2回、テーマ学習会を3回計画。それぞれ計画通りに実施している。
③④	生徒の出席状況の把握と先行指導	毎日の出席状況や1/6、1/5オーバーした生徒を把握し、出席の改善が出来たか。	A	朝会での報告と指導カルテの提出で意識の喚起と指導の確実性を見込んでいる。
②	各種奨学金を生徒に紹介し、奨学金の受給を広げる	一覧表の配布や説明会を実施し、奨学金を生徒に紹介できたか。	A	速やかな手続きができるようにしている。
②	奨学金主催団体への円滑な事務手続き	奨学金名簿を作製し、必要書類を適正に提出出来たか。	A	同上
①④	生徒が西高手帳を有効的に利用できるように指導する。	記入の様子を把握する。タイムマネジメント手帳の有効利用講習会の実施等。	B	利用状況アンケートを実施。結果を分析し、有効利用について研究する必要がある。
⑤	学校説明会	円滑に運用できたか。	A	計画どおりに実施している。
⑤	HPの作製と運営	製作過程の取り組みの状況、内容に対する反応。	A	アクセス数も例年どおりで推移している。
⑤	学校案内の作成と発行	同上	A	例年以上に構成に力を入れた。
⑤	西高ニュースの作成と発行	同上	A	計画どおりに発行。
⑤	西高の教育の作成と発行	同上		後期に発行のため年度末に評価
⑤	西高を地域社会にPRする	様々な場面でのアンケートの実施		年度末に評価。上田地域産業展に参加(10/25)の準備を進めている。

## (2)進路指導係

重点目標	今年度の目標
①	R-CAP を利用したキャリア教育の推進を図り、自己理解や職業観をもとにした主体的な進路選択を支援する。(インターンシップ、振り返り活動)
②	適切な進路情報を提供するとともに、3年間を通して生徒の進路意識の向上を図り、担任団の進路指導の援助を行う。(キャリアガイダンス、卒業生の声)
③	各種補習や模擬試験への取り組みを充実させ、進路実現に向けた学力の向上を図り、希望進路の実現を支援する。 (進学補習、模擬試験、特進学習日、公務員試験対策)

※評価【 [達成度] A：十分 B：おおむねよい C：不十分 】

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題
①	三年間を見通したキャリア教育を計画し、主体的な進路選択に向けた支援を行う。	「進路の手引き」等の発行物を有効に活用し、計画通り進路指導ができたか。	A	計画通りに進んでいる。残りの進路行事も計画に沿って進める。
①	各係と連携しながら、職業体験の場を生徒に提供し、生徒の職業理解を深める。	「インターンシップ」を充実させ、実体験を通して職業観を育成できたか。	B	看護体験や企業見学を希望者に行うことができた。インターンシップは2月に実施予定。
①②	生徒の進路意識状況を把握し、学年の進路指導に活用するとともに、生徒の自己理解を深める。	「進路個人カルテ」の改良を図り、有効に利用できたか。	B	個人カルテの改良はまだ不十分である。しかし、スタディサポートの資料や FINE SYSTEM などとの位置付けを整理したい。
②	適切な進路情報を随時提供し、生徒の進路意識の向上を図る。	進路意識の向上につながる「キャリアガイダンス」や「卒業生の声」を実施できたか。	A	年間計画に沿って、各学年とも適切に行えている。
②③	生徒の成績の把握・分析を行い、職員全体で生徒の学習状況を把握できるようにする。	「FINE SYSTEM」を用いて情報を共有し、学習指導に役立てることができたか。	C	FINE SYSTEM の契約台数を増やしたが、インストールが完了していない。活用方法については研修会を実施する予定。
③	生徒の学習の場を保障することで、希望進路実現に向けた学力の向上を図る。	進路実現に向けた学力向上につながる「進学補習」や「土曜補習」を実施できたか。	A	計画通り進んでいる。各種補習の位置付けや実施方法については、整理する必要がある。

### (3) 生徒指導係

今年度の目標	重点目標
①	いじめ・暴力をなくす
②	貴重品の管理徹底をさせる
③	制服を正しく着させる（服装頭髪指導の強化）
④	挨拶ができる西高生を目指す

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	今後の課題
①	いじめ・暴力行為に関する啓蒙活動を行う。またいじめ・暴力が起こった場合、反省をしっかりとさせる。	いじめや暴力について生徒に考えさせられたか。	B	2学期に入って暴力が発生したが、該当生徒に十分反省させる指導ができた。
②	学校生活に必要なない貴重品を持ち込ませない。また、ロッカーを各自で施錠させて貴重品を保管させる。校内巡視や放送による呼びかけを行う。	盗難が減ったか。	B	貴重品の管理徹底を係で呼びかけているが、生徒に徹底できていないところがある。継続して呼びかけていきたい。
③	定期的に服装頭髪指導を行い生徒が正しく制服を着ることを習慣化させる。	正しく制服を着れる生徒が増えたか。	B	多くの生徒が正しく制服を着ているが、一部の生徒に服装の乱れが見られる。担任と協力して指導していく。
④	挨拶を誰に対しても自然にできるように教員からの挨拶や活動を行っていく。	挨拶ができる生徒が増えたか。	A	挨拶ができる生徒が増えた。明るく礼儀正しい西高生を目指し、挨拶できる生徒を更に増やしていく。

### (4) 生徒会係

今年度の重点	重点目標
①	生徒会本部役員のリダーシップの下、全校が一丸となった学校づくりを進める。
②	クラス・クラブ・委員会など様々な生徒集団の中で自立と自治の力をつけさせ、民主的な人格形成を目指す。
③	他校、地域、保護者などに対して開かれた活動を生み出し、社会性を身につ

	けさせる。
--	-------

※評価（達成度）      A:十分      B:おおむねよい      C:不十分

重点 目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	本部役員の企画力・行動力を育み、リーダー集団として成長させる。	予餞会・西高祭など各種行事を主催・運営することにより、自らの組織力や行動力を高められたか。	A	各行事を行う中で、徐々に全校のリーダーとして成長していく姿が見られた。
①	太鼓の伝統を引き継ぐ。	太鼓の伝統的な指導を受け継ぎ、太鼓を通して団結力や精神面を鍛えられたか。	A	全員の気持ちをまとめることに苦勞したが、西高祭の最後のステージでは最高の演技をし、達成感を味わえた。
②	委員会活動を活性化させる。	各委員会がそれぞれ活発に企画・運営し、生徒会の活性化を推進できたか。	A	各委員会においてそれぞれ積極的に自主活動を行った。
②	話し合いを通して、協力体制をつくる力を身につけさせる。	生徒総会や各行事の企画・立案などを通して、討議・決定・実践・総括のプロセスを身につけられたか。	B	生徒総会では活発な意見が出されたが、討議・決定の手順など課題が残った。役員会などを通して力をつけていきたい。
②	集団指導体制を通して豊かな資質を育む。	各行事を通して、学年・クラスを超えた生徒・教員の交流を図り、豊かな人間性を身につけられたか。	A	リーダー研修会、西高祭では学年を超えた交流ができ、同じクラス内でも新たな人間関係を築くことができた。
③	他校や地域との交流を深める。	他校との交流や地域的な活動を通して、他から学ぶ力や社会性を豊かにすることができたか。	B	他校や地域との交流に関しては、目立った活動がまだできていない。緑のフェスティバルでは積極的に取り組んでいきたい。

(5) 防災整備係

今年度の目標	重点目標
①	管理箇所の点検や防災の推進を図る
②	年間を通して校舎内外の整美と美化に努める
③	全校生徒、職員による清掃活動を徹底する
④	学習環境や地球環境の保護意識を高める

※評価（達成度）A:十分 B:おおむねよい C:不十分

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題
①	分担箇所の管理	破損箇所の発見・修理箇所の点検・管理箇所の安全確保	A	おおむね徹底されている。修理に関しては迅速な対応が課題。
①	防災意識の啓発とそなえ	<u>生徒の防災に対する意識の啓発と</u> 、迅速な防災訓練の実施	A	避難訓練では8分ほどで全校生徒が避難完了した。大きな自然災害に対する啓発の必要性を感じる。
②③	通学路清掃の推進	各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施(整美委員会が中心になって行う)	A	定着し、地域から感謝されている。清掃用具の維持管理の徹底。
③④	ゴミ分別の徹底	ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画	C	クラス、クラブ、研究室によって分別度に差がある。啓蒙と意識の向上が必要。